

夏休み自由課題サポートクルーズを実施しました

8月4日（火）尾道市内の小学生22名、その保護者13名の参加者のもと、海事都市尾道推進協議会（事務局：尾道市、中国運輸局）が、「夏休み自由課題サポートクルーズ」を実施しました。

尾道市の基幹産業である海事産業や海に関する歴史文化遺跡を船上から見ることで、海や船に興味を抱いてもらうことを目的とし、今回で10回目の開催となります。

当日、参加者は高速船に乗船し、おのみち海の駅を出航しました。船内では、「船と海運の役割」について、中国運輸局職員が小学生にも分かりやすいように、紙芝居方式でクイズを交えながら説明しました。多くの子供たちが楽しそうに手を挙げ、盛り上がっていました。

沢港（瀬戸田）に到着後、内海造船本社・瀬戸田工場の協力を得て、造船所内の建造中や修繕中の船を説明を受けながら見学し、間近で見る建造中の船にカメラを向けるなど、興味津々でした。

その後は高速船に戻り、船内において尾道市文化振興課の学芸員の方から歴史文化関係やそれぞれの航路上から見える造船所と建造中や修繕中の船、村上水軍の文化遺跡や灯台などについて説明を受けました。参加者のみなさんは、船上から見る風景が、陸から見る街並みや橋とは、ひと味違うことを実感されたようです。

